



超精密 4G デュアルセンサーシステム搭載で、新しく生まれ変わった Razer Mamba。レーザー式と光学式の 2 つのセンサー採用で、使用面に合わせた調整とリフトオフ時の追跡距離の調節が可能になり、トラッキングが大幅に向上しました。電池寿命を 25% 改善し、ゲームへの集中を妨げません。新たに搭載したマルチカラー LED によるカスタマイズも自在。業界トップレベルのゲーミンググレード無線テクノロジーを採用した Razer Mamba は、この世にふたつとない優れものです。

目次

1. パッケージの内容 /システム要件	3
2. 登録 / テクニカルサポート	3
3. 技術的な仕様	5
4. 各機能の説明	6
5. RAZER MAMBA のインストール	8
6. RAZER MAMBA のインストール方法	13
7. RAZER MAMBA の設定	14
8. 安全性とメンテナンス	35
9. 法的権利	38

1. パッケージの内容 / システム要件

パッケージの内容

- Razer Mamba ゲーミングマウス
- 充電ドック
- リチウムイオンポリマーバッテリー
- USB ケーブル
- クイックスタートガイド
- マスターガイド

システム要件

- USB ポート搭載の PC / Mac
- Windows® 8 / Windows® 7 / Windows Vista® / Windows XP (32-bit) / Mac OS X (10.7-10.9)
- インターネット接続
- 100MB のハードディスク空き容量

2. 登録 / テクニカルサポート

登録

Synapse アカウントにサインアップすると、製品の残り保証期間をリアルタイムに確認できます。Synapse とそのすべての機能に関する詳細は、www.razerzone.com/jp-jp/synapse を参照してください。

すでに Synapse ユーザーの場合は、Synapse アプリケーションでアカウントをクリックして製品を登録し、ドロップダウンリストから保証ステータスを選択します。

製品をオンラインで登録するには、www.razerzone.com/registration にアクセスしてください。Web サイトから登録する場合は、保証期間を表示できなくなりますのでご注意ください。

テクニカルサポート

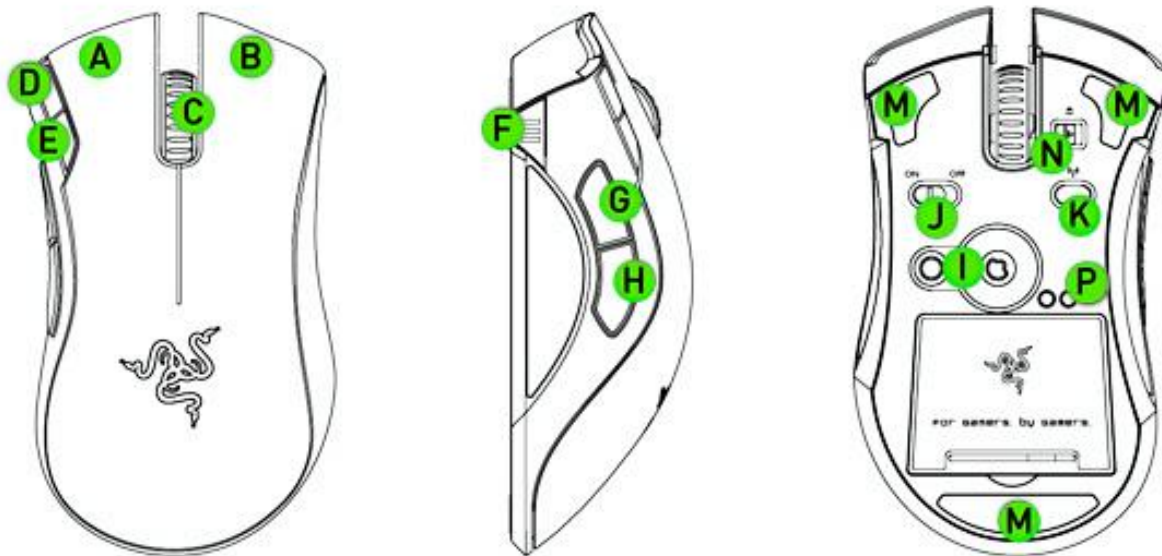
登録による特典:

- 2 年間の 製造元限定保証
- 6 ヶ月のバッテリー保証
- www.razersupport.com での無料のオンライン技術サポート。(英語のみ)

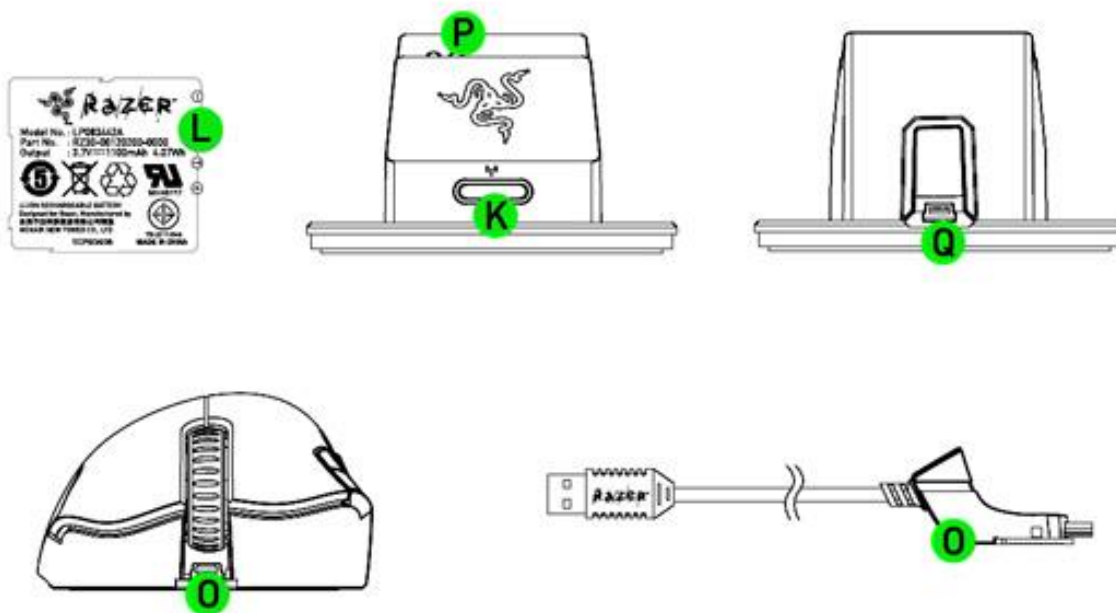
3. 技術的な仕様

- ゲーミンググレード無線テクノロジー
- ゲーミンググレード無線テクノロジー
- 有線と無線のデュアルモード機能
- 1000Hz Ultrapolling
- マルチカラーライティング
- 最大認識速度 200 ips / 最大加速度 50g
- 電池寿命: 約 16 時間 (連続ゲームプレイ時)
- 概算サイズ: 115mm × 68mm × 43mm
- 重量(概算): 136 g / 0.30 lbs

4. 各機能の説明



- A. 左マウスボタン
- B. 右マウスボタン
- C. スクロールホイール
- D. 感度ステージを上げる
- E. 感度ステージを下げる
- F. バッテリー残量 / 感度ステージインジケータ
- G. マウスボタン 5
- H. マウスボタン 4
- I. 4G レーザーセンサー
- J. 電源オン／オフスイッチ
- K. ペアリングボタン



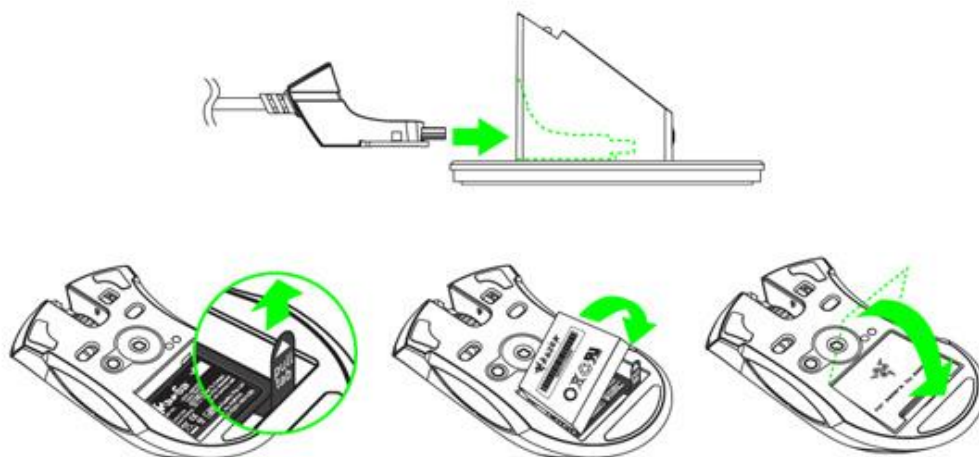
- L. リチャージバッテリー
- M. Ultraslick マウスソール
- N. ケーブルロック スイッチ
- O. ケーブルコネクタジャック
- P. バッテリー充電コネクタ
- Q. コネクタジャック(充電ドック)

5. RAZER MAMBA のインストール

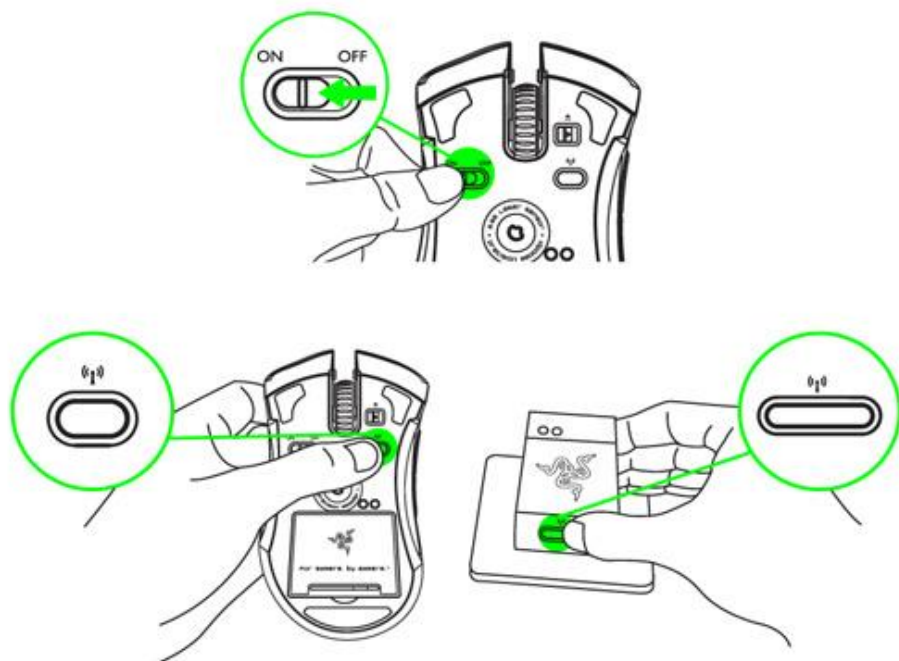
注記: Razer Mamba を最初にご使用になる前に、充電を完全に行い、最適な状態になるようにしてください。完全に放電したバッテリーは、約 xx 時間で完全に充電されます。

無線モード

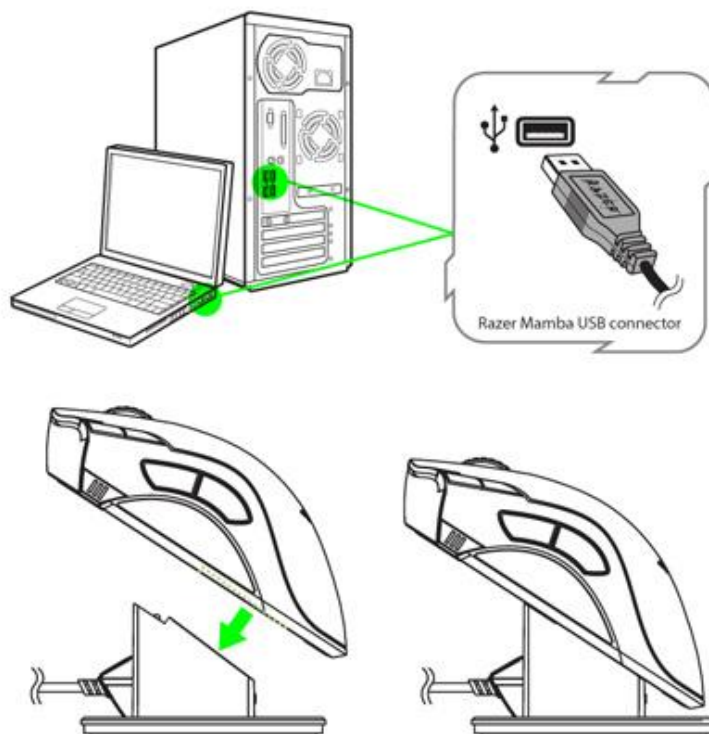
1. ケーブルコネクタジャックを充電ドックに接続します。
2. プルタブを引き出してから、バッテリーをバッテリーケースに挿入します。(プルタブによりバッテリーを楽に取り外せます)
3. バッテリーケースを閉じます。



4. Razer Mamba のスイッチをオンにします。
5. Razer Mamba と充電ドックのペアリングボタンを押します。充電ドックのペアリングボタンが点滅して、ペアリング中であることが示されます。
6. ペアリング処理が終了したら、ボタンの点滅が停止します。これで Razer Mamba は無線モードで使えるようになりました。

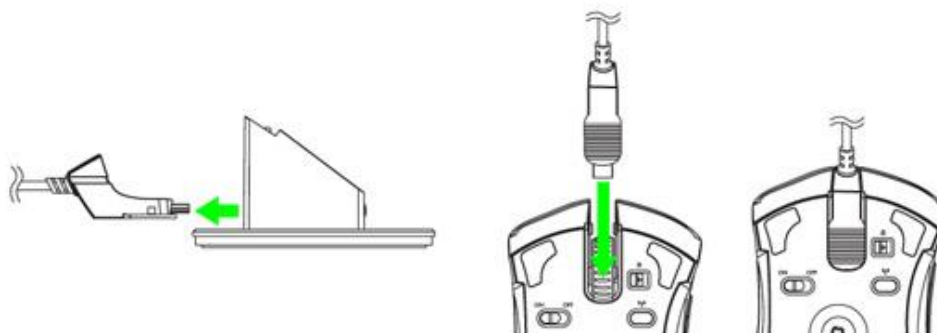


7. 無線モード時の Razer Mamba を充電するには、充電ドックに設置します。別の方法として、Razer Mamba を有線モードにして、パソコンの USB ポートから直接充電することもできます。

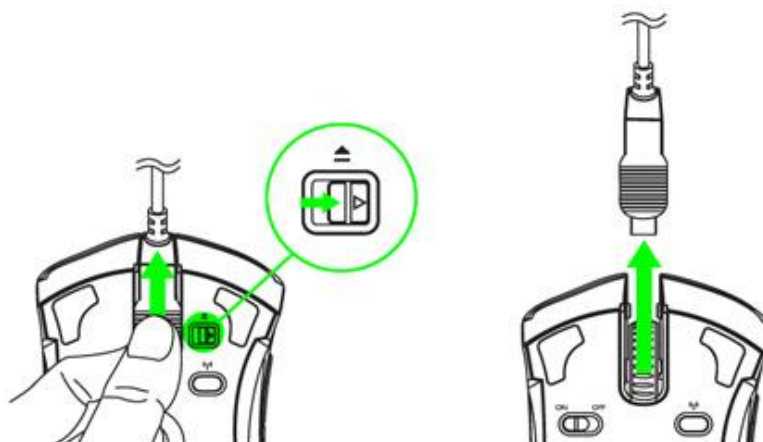


有線モード

1. ケーブルコネクタジャックを Razer Mamba に接続します。



2. USB 端子をお使いのコンピュータの USB ポートに差し込みます。バッテリーは自動的に充電を開始します。
3. ケーブルを外すには、ケーブルロックスイッチを右にスライドさせてから、ケーブルコネクタジャックを引き抜いてください。



バッテリー残量 / 感度ステージインジケータの見方

Razer Mamba の左サイドには、バッテリーの残量と現在の感度ステージを示す、バッテリー / 感度 LED インジケータがあります。

バッテリー残量インジケータの挙動

バッテリー100% Battery 

バッテリー70% Battery 

バッテリー30% Battery 

バッテリー5% Battery 

感度ステージインジケータの挙動

感度ステージ 1 

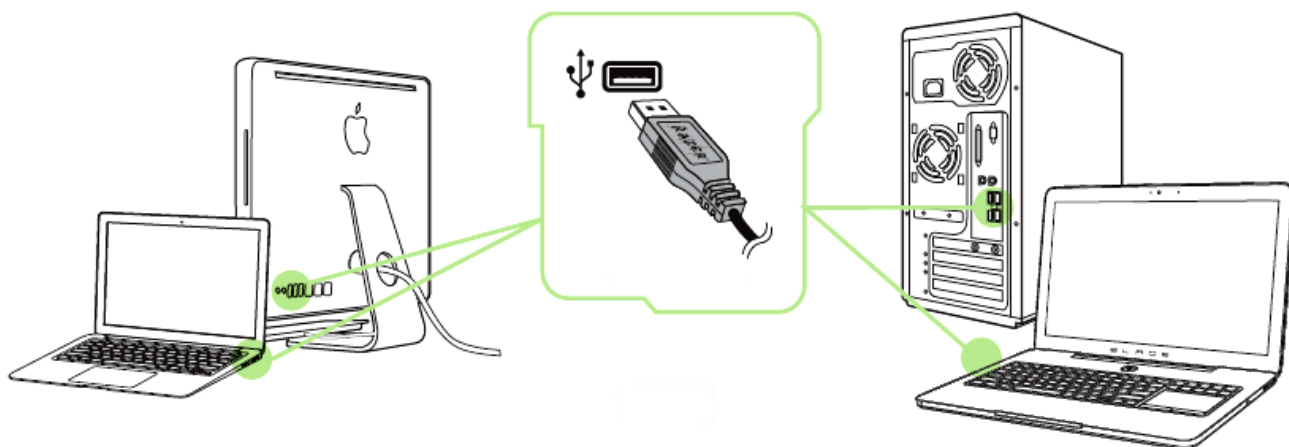
感度ステージ 2 

感度ステージ 3 

感度ステージ 4 

感度ステージ 5 

6. RAZER MAMBA のインストール方法



手順 1: ご使用のコンピュータの USB ポートにお客様の Razer デバイスを接続して下さい。

手順 2: プロンプト* が表示されたら、Razer Synapse をインストールするか、インストーラーを www.razerzone.com/jp-jp/synapse からダウンロードします。

手順 3: Razer ID を作成するか、お持ちの Razer ID で Synapse にログインします。

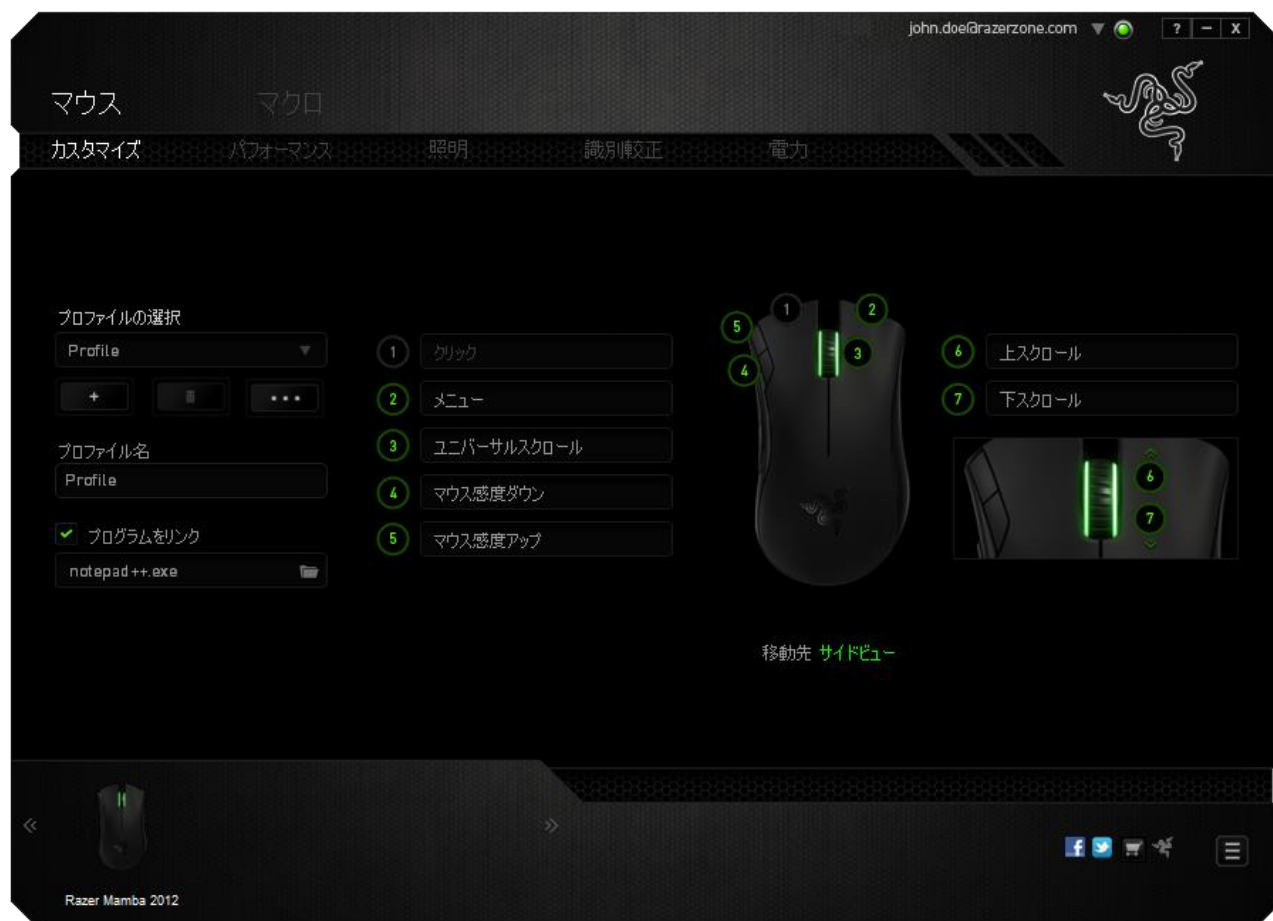
*Windows 8 以降の場合。

7. RAZER MAMBA の設定

免責事項: 下記の機能を使用するためには、Razer Synapse のインストールが必要となります。また、これらの機能は、現在のソフトウェアのバージョンならびにご使用のオペレーティングシステムに基づき変更される場合があります。

[MOUSE (マウス)] タブ

Razer Synapse をインストールした後の初期起動画面では[マウス] タブが表示されます。このタブではデバイスのプロファイルや、ボタンの割り当て、パフォーマンスやライティングをカスタマイズできます。



プロフィール

プロフィールとは、すべてのカスタム設定を整理することができる便利な機能で、ユーザーは無数のプロフィールを自由に設定できます。各タブに変更を加えると、現在のプロフィールに自動的に保存され、クラウドサーバーに保存されます。



 ボタンをクリックするとプロフィールを新規作成でき、 ボタンをクリックすると現在のプロフィールが削除されます。 ボタンをクリックすると、プロフィールのコピー、インポートおよびエクスポートが可能です。

現在のプロフィールの名前はデフォルトで「プロフィール」ですが、[プロフィール名] の下にあるテキストフィールドに入力して名前を変更できます。

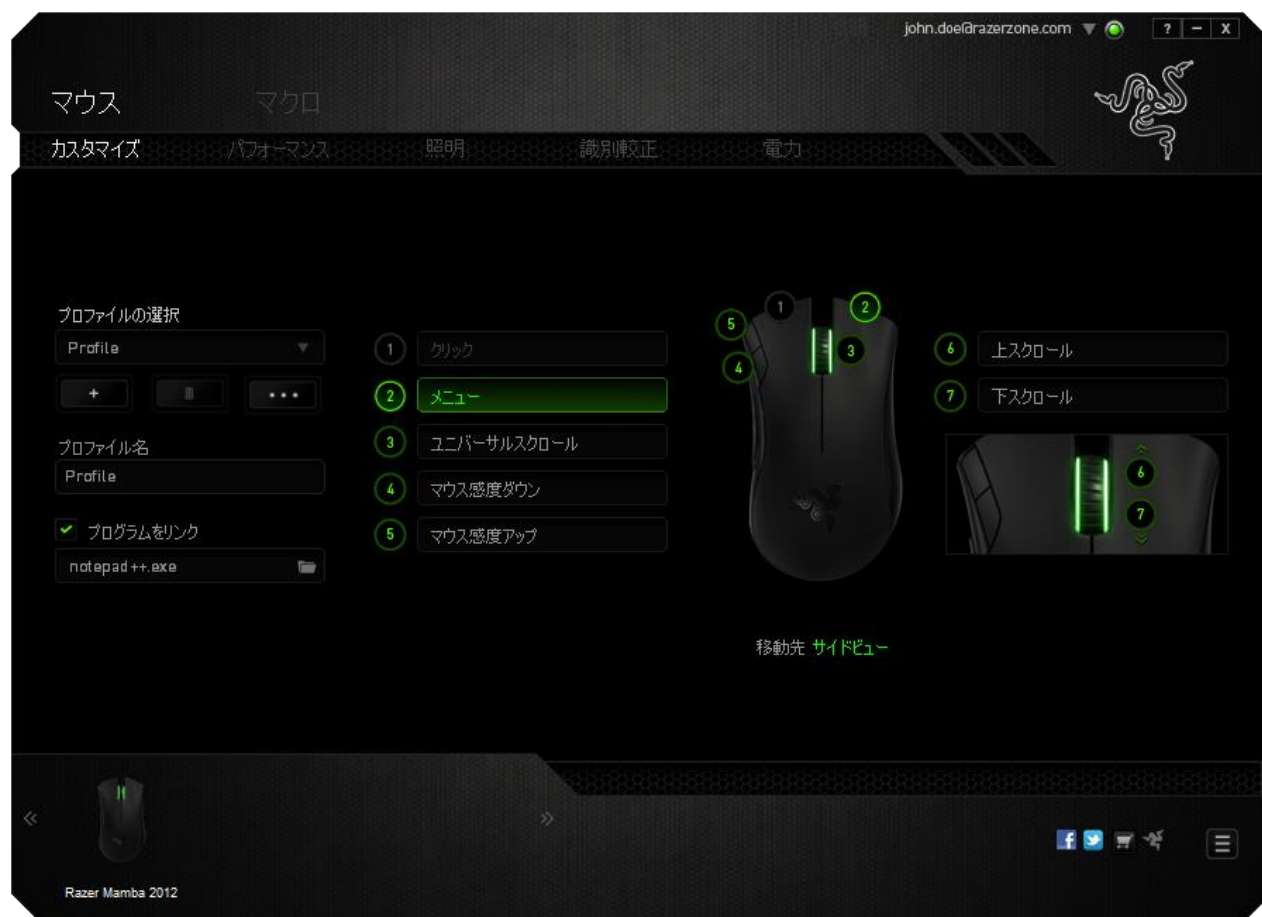
[プログラムをリンク] オプションを使用して、各プロフィールは、プログラムまたはアプリケーションの実行時に自動的にアクティブ化されるように設定できます。

(カスタマイズ) タブ

(カスタマイズ) タブでは、ゲームのニーズに合わせたボタンの割り当てなど、デバイスの基本的な機能を変更できます。このタブで行った変更は、現在のプロファイルに自動的に保存されます。

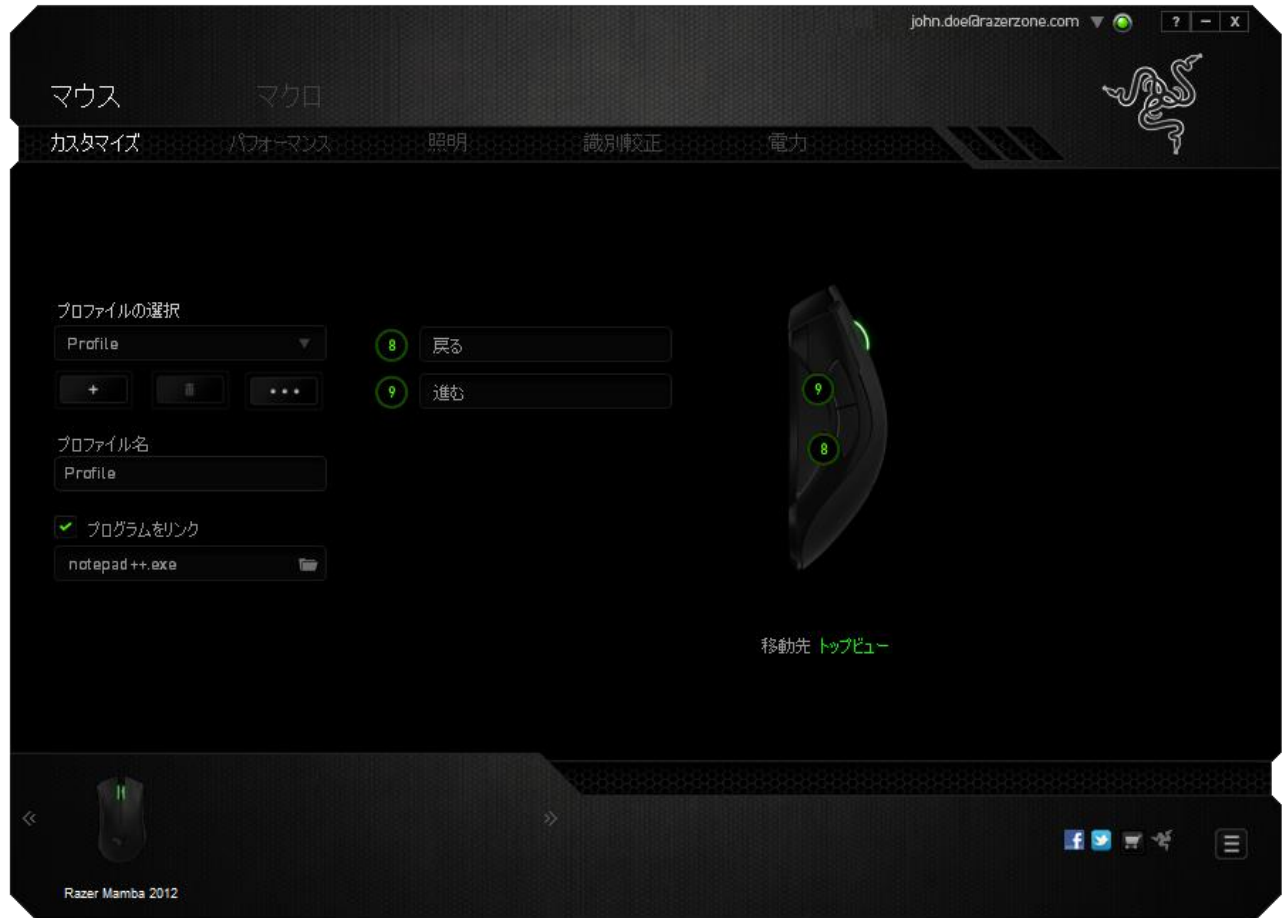
トップビュー

トップビューでは、5 つの基本のマウスボタンとマウスホイールをカスタマイズできます。



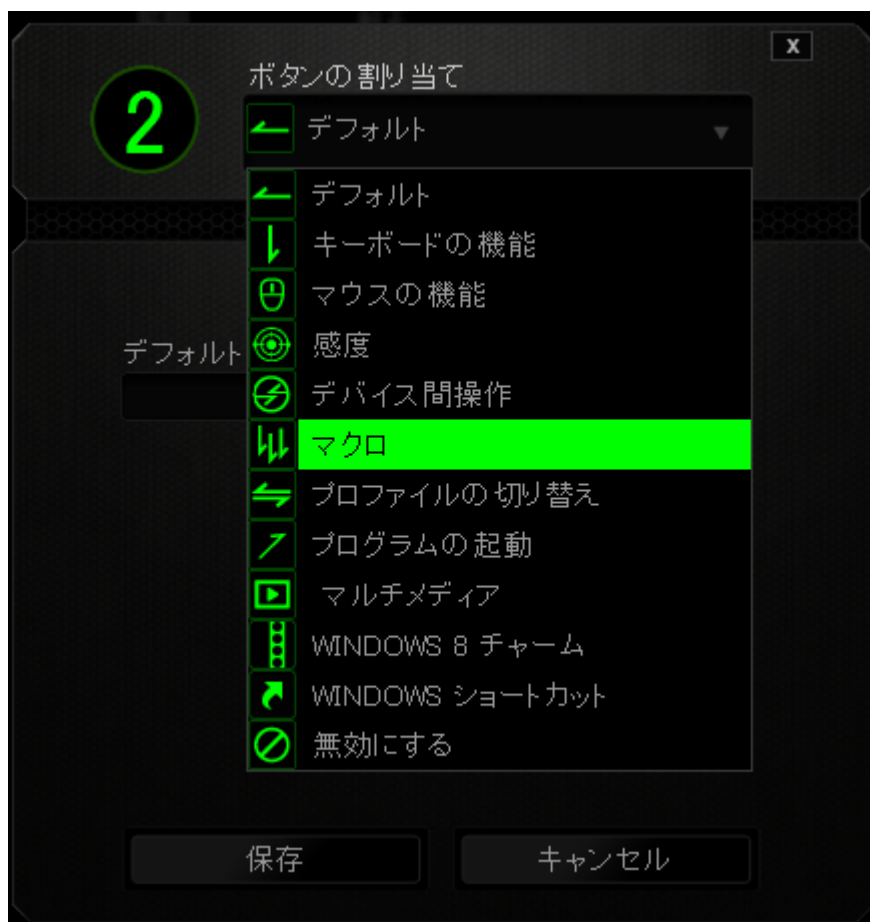
サイドビュー

このビューでは、マウスのサイドボタンをカスタマイズできます。



[ボタンの割り当て]メニュー

初期状態では、各マウスボタンはデフォルトに設定されています。これらのボタンの機能は変更可能です。変更するためには、変更したいボタンをクリックし、[ボタンの割り当て]メニューにアクセスします。



以下に、カスタマイズのオプションとその説明を示します。



デフォルト

このオプションでは、指定したキーの機能を初期状態に戻すことができます。初期状態を選択するには、[キー割り当て]メニューから[デフォルト]を選択するだけです。



キーボード機能

このオプションを使用すると、マウスボタンにキーボードの機能を割り当てできます。キーボード機能を選択するには、[キー割り当て] メニューから(キーボード機能)を選択し、指定されたフィールドに使用するキーを入力します。 *Ctrl*、*Shift*、*Alt*、あるいはこの組み合わせといった、修飾キーを含めることもできます。



マウス機能

このオプションを使用すると、マウスボタンを別のマウス機能に変更できます。マウス機能を選択するには、[キー割り当て] メニューから (マウス機能) を選択します。(ボタンの割り当て) サブメニューが表示されます。

以下に、(ボタンの割り当て) サブメニューから選択できる機能を示します。

左クリック	– 割り当てられたボタンを使用するとマウスの左クリックを実行します。
右クリック	– 割り当てられたボタンを使用するとマウスの右クリックを実行します。
スクロールクリック	– ユニバーサルスクロール機能を実行します。
ダブルクリック	– 割り当てられたボタンを使用するとマウスの左ダブルクリックを実行します。
マウスボタン 4	– ほとんどのインターネットブラウザにおける「戻る」コマンドを実行します。
マウスボタン 5	– ほとんどのインターネットブラウザにおける「進む」コマンドを実行します。
上スクロール	– 割り当てられたボタンを使用すると「上スクロール」コマンドを実行します。
下スクロール	– 割り当てられたボタンを使用すると「下スクロール」コマンドを実行します。
左スクロール	– 左スクロール、もしくは割り当てられたコマンドを実行します。
右スクロール	– 右スクロール、もしくは割り当てられたコマンドを実行します。



感度

感度とは、マウスポインタが画面上をどのくらいの速度で移動するかを指します。ドロップダウンメニューから（感度）を選択すると、サブメニューが表示され、次のオプションを選択できます。

感度クラッチ

– 指定したボタンを押している間、事前に設定した感度に変更します。ボタンを離すと、押す前の感度に戻ります。

感度ステージアップ

– 現在の感度を 1 ステージ上げます。感度ステージの詳細については、（パフォーマンス）タブを参照してください。

感度ステージダウン

– 現在の感度を 1 ステージ下げます。感度ステージの詳細については、（パフォーマンス）タブを参照してください。

感度のリアルタイム調整

– 割り当てたボタンを使用して現在の感度をすぐに調整できます。（感度のリアルタイム調整）が設定された場合、指定したボタンを押しながら、スクロールホイールを回すと、画面上に現在の感度を示すバーが表示され、感度レベルを変更できます。

感度ステージを上げる

– 感度レベルを上げていき、最高感度レベルに達した後、ボタンをもう一度押すと、感度レベル 1 に戻ります。感度レベルの詳細については、パフォーマンスタブを参照してください。

感度ステージを下げる

– 感度レベルを下げていき、感度レベル 1 に達した後、ボタンをもう一度押すと、最高感度レベルになります。感度レベルの詳細については、パフォーマンスタブを参照してください。



デバイスの相互操作

デバイスの相互操作機能を使用すると、他の Razer Synapse 対応デバイスの機能を変更できます。これらの機能の一部は、Razer ゲーミングキーボードを使用して Razer ゲーミングマウスの感度ステージを変更する場合など、デバイス固有の機能です。[ボタンの割り当て] メニューでデバイスの相互操作機能を選択すると、サブメニューが表示されます。

[リンクするデバイス] では、現在接続されている Razer デバイスのどれをリンクするか選択でき、[機能] ではリンク先デバイスで使用する機能を選択できます。



マクロ

マクロとは、事前に記録されたキーストロークとボタンの押下のシーケンスを正確なタイミングで実行する機能です。ボタンにマクロを割り当てると、複雑な組み合わせを簡単に実行できるようになります。(マクロの割り当て) では、記録済みのマクロから使用するものを選択でき、[再生オプション] からマクロの動作方法を選択できます。マクロコマンドの作成の詳細については、(マクロ) タブを参照してください。



プロファイルの切り替え

プロファイルの切り替え) を使用すると、すぐにプロファイルを変更して、事前に設定した設定をすべてロードすることができます。[キー割り当て] メニューから [プロファイルの切り替え] を選択すると、サブメニューが表示され、使用するプロファイルを選択できます。プロファイルを切り替えるたびに、画面にプロファイル名が自動的に表示されます。



プログラムを起動

プログラムを起動) を使用すると、割り当てたボタンを使用してプログラムやアプリケーションを実行できます。ドロップダウンメニューから (プログラムを起動) を選択すると、 ボタンが表示され、指定するプログラムやアプリケーションを検索できます。



マルチメディアファンクション

このオプションを使用すると、お使いのデバイスにマルチメディア再生コントロールをバインドできます。マルチメディアファンクションを選択すると、サブメニューが表示されます。サブメニューから選択できるマルチメディア再生コントロールを以下に一覧します。

音量ダウン	- オーディオ出力を減らします。
音量アップ	- オーディオ出力を増やします。
音量をミュート	- オーディオをミュートにします。
マイク音量アップ	- マイクのボリュームを上げます。
マイク音量ダウン	- マイクのボリュームを下げます。
セルフミュート	- マイクをミュートにします。
すべてミュート	- マイクとオーディオ出力を両方ミュートにします。
再生 / 一時停止	- 現在のメディアを再生、一時停止、または再生を再開します。
前のトラック	- 前のトラックを再生します。
次のトラック	- 次のトラックを再生します。



Windows 8 チャーム

このオプションを使用すると、キーをオペレーティングシステムのショートカットコマンドに割り当てることができます。詳細については、以下をご覧ください：
<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/getting-around-tutorial>。



Windows ショートカット

このオプションを使用すると、キーをオペレーティングシステムのショートカットコマンドに割り当てることができます。詳細については、以下をご覧ください：
<http://support.microsoft.com/kb/126449/ja>。



無効

このオプションを使用すると、割り当てたボタンは使用できなくなります。ボタンが不要な場合、あるいは特定のボタンがゲームの障害となる場合に、(無効)を使用してください。

(パフォーマンス) タブ

(パフォーマンス) タブを使用すると、マウスポインタのスピードと精度を高めることができます。(カスタマイズ) タブと同様に、ここで行う変更は自動的に現在のプロファイルに保存されます。



以下に、パフォーマンスオプションとその説明を示します。

感度

感度とは、マウスのポインタを任意の方向に動かす為に必要な、マウスを動かす距離の割合です。感度が高ければ高いほど、マウスの反応が敏感になります。(推奨設定値: 1600 – 1800 DPI)

X-Y 軸感度を有効にする

初期設定では、X 軸（水平）と Y 軸（垂直）は同じ感度値を使用しています。しかし、**(X-Y 軸感度を有効にする)** オプションを選択すると、各軸に異なる感度値を設定できます。

感度ステージを設定する

感度ステージとは事前に設定可能な感度値です。感度ステージのアップ/ダウンボタンを使用して切り替え可能となる、最大 5 つの異なる感度ステージを作成できます。

加速

マウスを動かすスピードによって、カーソルの感度がアップします。値が高ければ高いほど、マウスはより素速く加速します。

(推奨設定値: Windows 0, Mac 5)

ポーリングレート

ポーリングレートが高くなればなるほど、コンピュータはマウスの状態に関する情報を受け取る頻度が増え、マウスポインタの応答速度が向上します。ドロップダウンメニューで使用するポーリングレートボタンを選択すると、125Hz (8 ミリ秒)、500Hz (2 ミリ秒)、1000Hz (1 ミリ秒) にそれぞれ切り替えることができます。

(推奨設定: 500Hz - 1000Hz)

ライティング タブ

ライティングタブでは、Razer Mamba のLEDライト を設定できます。

Razer Mamba は、1600 万種類以上のカラーから選んでマウスのカラーをカスタマイズし、外観を好みの色に変更できます。カラーを変更するには、[Spectrum Cycling(スペクトラムサイクリング)]ボックスをチェックします。ライトを好みの輝度に調整できます。

前述のタブと同様に、ここで行う変更も自動的に現在のプロファイルに保存されます。

注記: 変化が適用される間、マウスを2秒ぐらい動かさないでください。



【調整】タブ

【調整】タブでは、トラッキング効率を高めるために、どのようなマウスパッドについても Razer Precision センサーを最適化することができます。この機能を使用するには、[Surface Calibration (表面識別較正)] で [オン] オプションを選択する必要があります。

注意: この機能を正常に動作させる為には、単色かつ均一な織り目の表面を持つマウスマット、もしくはそれに順ずるものが必要となります。



(リフトオフレンジ) では、マウスパッドからマウスが持ち上げられたときに、センサーがトラッキングを停止する距離を設定できます。

注記: 変化が適用される間、マウスを2秒ぐらい動かさないでください。

センサーの較正を開始するには、**今すぐ較正をおこなう** ボタンをクリックします。

- 自動 – マウスがシステムに接続されるたびに、マウスは自動的に表面を識別するよう較正されます。



- カスタム - マウスを持ち上げるとトラッキングが遮断される基準となる高さを増減します。



[電源] タブ

[電源] タブを使用すると、電池で稼働しているときのデバイスの電力消費量を管理できます。一定の時間にわたりデバイスがアイドル状態の場合にスリープモードに入るようデバイスを設定することも可能です。[電源] タブを使用すると、デバイスの電源が特定のレベルにあるときに通知するよう設定することもできます。



(マクロ) タブ

(マクロ) タブを使用すると、一連の正確なキーストロークとボタンの押下をプログラムできます。このタブを使用して、さまざまなマクロの設定や、非常に長いマクロコマンドを自由に作成できます。



マクロセクションでは、プロフィールと同様に、下の (マクロ名) のフィールドに入力することでマクロ名を変更できます。マクロセクションでは、 ボタンをクリックして新しいマクロを作成したり、 ボタンをクリックして現在のマクロを削除したり、 ボタンをクリックして現在のマクロを複製したりといった、その他のオプションも使用できます。

マクロの作成を開始するには、 ボタンをクリックします。この後に入力される、すべてのキーストロークとボタンの押下が自動的にマクロ画面へ記録されます。マクロコマンドの記録が終了したら、 ボタンをクリックしてセッションを終了します。

マクロセクションでは、コマンドの間隔時間を入力できます。(間隔の記録) 状態では、コマンドの間隔時間が入力されたとおりに記録されます。(間隔の設定) 状態では、事前に定義した間隔時間 (秒で表示) が間隔として挿入されます。(間隔無し) 状態では、キーストローク及びボタン押下の間隔がすべて排除されます。

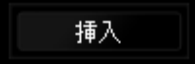


注記: sec (秒) フィールドに値を入力する際には、小数点以下 3 桁 まで指定できます。

マクロを記録後に、マクロ画面で様々なコマンドを選択して、入力したコマンドの編集ができます。各キーストロークまたはボタン押下は、画面上部に表示される最初のコマンドと連続して配列されます。



 ボタンを使って、特定のコマンドを編集できます。 ボタンでコマンドを削除できます。 ボタンと ボタンを使って、選択コマンドを上下に移動できます。

 ボタンは、選択したコマンドの前後に追加のキーストローク、ボタン押下または間隔時間を挿入できます。

挿入

ボタンを押すと、新しいディスプレイウィンドウがマクロコマンドのリストの横に表示されます。このウィンドウのドロップダウンメニューから、ハイライトされているマクロコマンドの前後に追加するキーストロークまたは間隔を選択できます。





キーストロークメニューの  記録 ボタンをクリックして新しいマクロコマンドセットを追加するか、間隔メニューを使って間隔フィールドに間隔時間を入力できます。



8. 安全性とメンテナンス

安全に使用するためのガイドライン

Razer Mamba の使用時に最大限の安全を保証するため、以下のガイドラインに従うことを推奨します。

1. マウスのトラッキング光線を直に見たり、他の人の目に向けたりしないでください。トラッキング光線は裸眼では見えませんが、常に放射されています。
2. デバイスの操作に問題があり、トラブルシューティングで解決できない場合は、デバイスを取り外し、Razer ホットラインに連絡をするか、www.razersupport.com からサポートを依頼してください。どのような状況においても、ご自身で修理を試みないでください。
3. デバイスの分解（保証の適用外になってしまいます）、ご自身で修理を行う、問題のある状態で操作することなどは絶対にしないでください。
4. デバイスを、液体、湿気、または水分などに触れないようにしてください。デバイスは指定した温度範囲である、0°C (32°F) から 40°C (104°F) 以内で使用してください。この範囲外の温度で使用した場合、適温範囲に温度が安定するまでデバイスを取り外して、電源をオフにしておきます。

COMFORT

マウスを快適に使用するためのヒントです。研究によると、長時間の同じ動きの繰り返し、コンピュータ周辺機器の不適切な位置、不適切な姿勢、そして悪い習慣などは身体的な快適性を損ない、神経、腱や筋肉の障害につながる可能性があります。以下のガイドラインにしたがって、Razer Mamba を快適に使用して、怪我を防いでください。

1. キーボードとモニタを正面に置き、マウスをその横に置きます。肘は体の横のあまり遠くない位置になるようにし、簡単にマウスへ届くようにします。
2. 椅子とテーブルの高さを調節し、キーボードとマウスが肘よりも低い位置になるようにします。
3. 足はしっかりと支えのある場所に置き、姿勢を正し、肩の力を抜きます。
4. ゲーム中は、手首の力を抜きまっすぐにしておきます。手で同じ動作を繰り返す場合は、長時間手を曲げたり、伸ばしたり、ひねったりすることは避けてください。
5. 手首を堅い面に長時間乗せないようにします。ゲーム中はリストレストを使い、手首をサポートしてください。
6. ゲーム中の繰り返しや、厄介な操作を最小限にするために、マウスのボタンをお好みのゲーミングスタイルにカスタマイズしてください。
7. マウスが、快適に手の内に収まることを確認します。
8. 長時間同じ姿勢で座らないようにしてください。休憩を挟んで立ち上がり、デスクから離れて、腕、肩、首と脚を伸ばすような運動をしてください。
9. マウスの使用中に手、手首、肘、肩、首、または背中に、痛み、麻痺、またはしびれのような身体的に不快適さを感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

メンテナンスと最適な使用環境

Razer Mamba を最適な条件で維持するためには、最低限のメンテナンスが必要です。月に一度、デバイスを USB ポートから取り外して、お湯で湿らせた柔らかな布か麺棒などを使って、埃がたまらないように清掃することを推奨します。石鹼や強力な洗剤などは使わないでください。

最適な動きやコントロールを得るには、Razer の高品質なマウスパッドの使用を推奨します。特定のパッドでは、マウスソールに過剰な磨耗を生じさせることもあり、定期的な手入れや、最終的には交換が必要となってしまうます。

Razer Mamba のセンサーは、Razer のマウスパッドで最適に働くように調整されています。これは、広範囲にわたるセンサーテストの結果、Razer Mamba の読み取りとトラッキングが Razer のマウスパッドで最適に行われることを確認しているということです。

9. 法的権利

COPYRIGHT AND INTELLECTUAL PROPERTY INFORMATION

©2011–2013 Razer Inc. All rights reserved. Razer, For Gamers By Gamers 三つ首ヘビのロゴは、Razer Inc.および/または米国あるいはその他の国にある関連会社の商標または登録商標です。Windows および Windows ロゴは、Microsoft グループ企業各社の商標です。Mac OS、Mac および Mac のロゴは、Apple 社の商標または登録商標です。その他すべての登録商標は、それぞれの企業の所有物です。

Razer Inc. (「Razer」) は、本マスターガイドに記載されている製品に関する、著作権、商標、企業秘密、特許、特許出願、またはその他の知的財産権を（登録、未登録に関わらず）所有することができます。本マスターガイドの提供により、上述の著作権、商標、特許、または他の知的所有権の使用許諾がお客様に付与される訳ではありません。Razer Mamba (「製品」) は、パッケージなどに掲載された写真と異なる場合があります。Razer は、上記のような違いまたは外観上の誤りには責任を負わないものとします。本書に記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。

製品の限定保証

製品の限定保証の最新かつ現行の条件については、www.razerzone.com/warranty を参照してください。

法的責任の制限

いかなる場合も、Razer は、製品の流通、販売、転売、使用、または製品が使用できないことから生じる、いかなる利益損失、情報やデータの喪失、特別な、偶発的な、間接的な、懲罰的な、必然的な、または偶発的な損傷に責任を負いません。いかなる場合も、Razer 社の債務は、製品の小売購入額を超えることはありません。

調達費

誤解を避けるために、Razer は、損傷の可能性を知らされていた場合を除き、いずれの調達費に対して責任を負いません。また、Razer は、購入時に支払われた小売金額を超える調達費にはいかなる責任も負わないものとします。